

# 日本セトロロジー研究会 第28回(札幌)大会プログラム

2017年6月24日(土)

## 【公開特別講演会「北海道のストランディング」】

(ストランディングネットワーク北海道創立10周年記念シンポジウム)

会場：北海道博物館 講堂

主催：日本セトロロジー研究会

共催：ストランディングネットワーク北海道 北海道博物館

協賛：公益財団法人 北水協会

09:00 受付

09:30 開会のあいさつ

水島未記(日本セトロロジー研究会第28回(札幌)大会会長  
北海道博物館 学芸主幹)

S-01 座長：平口 哲夫(金沢医科大学)

09:40 S-01 ストランディングネットワーク北海道10年の活動

松石 隆(ストランディングネットワーク北海道代表  
北海道大学 国際連携研究教育局・水産科学研究院 教授)

S-02, 03 座長：石川 創(下関鯨類研究室)

10:20 S-02 SNH 創成期～鯨類調査から遺伝研究まで～

北村志乃(岩手大学 三陸水産研究センター 特任研究員)

10:45 S-03 北海道におけるストランディング個体での食性研究

～ストランディングネットワーク北海道でのエピソードも含めて～  
松田純佳(北海道大学 大学院水産科学院)

S-04, 05 座長：天野雅男(長崎大学)

11:10 S-04 北海道に漂着した鯨類で病理研究をすること

田島木綿子(国立科学博物館 動物研究部 研究員)

中郡翔太郎(帯広畜産大学 岐阜大学大学院連合獣医学研究科)

11:35 S-05 北海道に漂着した鯨類における残留性有機汚染物質の蓄積特性

－継続的な試料採集と保存の重要性－

国末達也(愛媛大学 沿岸環境研究センター 教授)

12:00 休憩

S-06, 07 座長： 宇仁義和（東京農業大学）

13:00 S-06 北海道に漂着した鯨類で漂着物に関する社会教育をすること  
～ビーチコーマーさんの足下には死体が転がっている～  
志賀健司（いしかり砂丘の風資料館 学芸員）

13:25 S-07 北海道に漂着した鯨類で古生物に関する社会教育をすること  
澤村寛, 安藤達郎, 新村龍也（足寄動物化石博物館）

S-08, 09, 10 座長： 水島未記（北海道博物館）

13:50 S-08 東京農大で鯨類漂着に関する調査に協力することの研究・教育的意義  
小林万里（東京農業大学 生物産業学部 教授）（キャンセル）

14:15 S-09 帯広畜産大学における教育・研究とストランディングネットワーク  
北海道(SNH)  
佐々木基樹（帯広畜産大学 獣医学研究部門 教授）

14:40 S-10 日本の鯨類ストランディングと SNH の活動  
石川創（下関海洋科学アカデミー 鯨類研究室 室長）

15:05 休憩

15:15 総合討論  
座長：山田格（国立科学博物館 名誉研究員，日本セトロロジー研究会代表）

16:00 閉会

16:10-16:55 日本セトロロジー研究会総会（会員のみ）

18:00-20:00 懇親会（会場：新さっぽろアークシティホテル）

2017年6月25日(日)

【研究発表】

(\*……若手研究者による最優秀発表賞審査対象演題)

会場：北海道博物館 講堂・記念ホール

主催：日本セトロジー研究会

共催：北海道博物館

口頭発表(第1部) 09:30 - 11:00

O-01~03 座長：森恭一(帝京科学大学)

09:30 O-01\* 鯨類由来線維芽細胞を用いた環境汚染物質の毒性影響評価  
○落合真理(愛媛大学), 栗原望(宇都宮大学), 松田純佳(北海道大学), 中郡翔太郎(帯広畜産大学), 塩崎彬(長崎大学), 中田章史(北海道薬科大学), 松石隆(北海道大学), 国末達也, 岩田久人(愛媛大学)

9:45 O-02\* 受動的音響モニタリング手法を用いた底刺し網近傍でのネズミイルカの行動観察  
○前田彩貴, 松石隆(北海道大学), 桜井憲二(羅臼漁業協同組合) 赤松友成(中央水産研究所)

10:00 O-03\* 鹿児島県南さつま市に集団座礁したマッコウクジラ  
○小林駿(長崎大学), 柏木伸幸(かごしま水族館), 塩崎彬(長崎大学), 松田愛衣(長崎大学), 西間庭恵子(長崎大学), 野田篤弘(長崎大学), 田島木綿子(国立科学博物館), 天野雅男(長崎大学)

O-04~06 座長：進藤順治(北里大学)

10:15 O-04\* イシイルカの表情筋と顔面神経に関する肉眼解剖学的研究  
○西間庭恵子(長崎大学), 山田格(国立科学博物館), 田島木綿子(国立科学博物館), 天野雅男(長崎大学)

10:30 O-05 カマイルカ脊髄神経前枝の観察  
○時田幸之輔(埼玉医科大), 関谷伸一(新潟県立看護大), 田島木綿子(国立科学博物館), 山田格(国立科学博物館)

10:45 O-06 礼文島浜中2遺跡出土土器の残存有機物分析—海獣の痕跡を探して—  
○宮田佳樹(金沢大学), 堀内晶子(国際基督教大学)

## ポスター発表 11:00 – 12:00

- P-01 北海道沿岸における 2016 年のストランディングレコード  
○松石隆, 松田純佳, 黒田実加, 松井菜月, 前田彩貴 (北海道大学), 中郡翔太郎 (帯広畜産大学), 小林万里 (東京農業大学), 桜井憲二 (羅臼漁協)
- P-02 福岡県沿岸における鯨類の漂着・迷入・混獲について (2012 年 1 月~2017 年 3 月)  
○宮園哲至 (海の中道海洋生態科学館), 中村雅之 (海の中道海洋生態科学館)
- P-03 日本海西部のシャチ  
○久志本鉄平, 立川利幸, 石橋敏章(下関市立しものせき水族館)
- P-04\* 北海道南西部海域におけるカマイルカの回遊追跡  
○岩原由佳, 白川北斗 (北海道大学), 工藤秀仁, 竹鼻瞭, 太田守信 (浅虫水族館), 宮下和士, 三谷曜子 (北海道大学)
- P-05\* カズハゴンドウの頭部における音響インピーダンス分布一吻の有無とクリックスの性質の関係一  
○黒田実加 (北海道大学), 佐々木基樹 (帯広畜産大学), 三木信弘 (公立はこだて未来大学), 松石隆 (北海道大学)
- P-06 フォトグラメトリーによる鯨類標本の 3DCG モデル化と標本観察におけるその有効性  
○森健人 (国立科学博物館)
- P-07\* ミンククジラ新生仔の舌表面構造の観察  
○石井真紀, 進藤順治, 岡田あゆみ (北里大学), 松田純佳, 松井菜月, 松石隆 (北海道大学)
- P-08 スナメリの背側稜上に見られる結節について  
○栗原望 (宇都宮大学), 天野雅男 (長崎大学), 田島木綿子, 山田格 (国立科学博物館), 青山真人, 杉田昭栄 (宇都宮大学)
- P-09\* 北海道沿岸にストランディングしたネズミイルカの生殖腺観察  
○松井菜月 (北海道大学), 小林万里 (東京農業大学), 佐々木基樹 (帯広畜産大学), 松石隆 (北海道大学)
- P-10 飼育下のハンドウイルカ (*Tursiops truncatus*) のリンパ球を用いた環境汚染物質による免疫毒性評価

西田悠輝, ◯落合真理 (愛媛大学), 澤 修作, 岩田秀一 (つくみイルカ島), 岩田久人 (愛媛大学)

P-11\* マッコウクジラ由来アンブレイン生産菌の探索

◯上田大次郎 (新潟大学), 川邊舞 (新潟大学), 山田格 (国立科学博物館), 田島木綿子 (国立科学博物館), 佐藤努 (新潟大学)

P-12 ストランディングネットワーク北海道 全記録 [2007-2016]

◯水島 未記 (北海道博物館), 松石 隆 (北海道大学)

休憩 12:00 – 13:00

北海道博物館ガイドツアー 13:00 – 14:00

## 口頭発表（第2部） 14:00 – 16:00

O-07～09 座長：大石雅之（岩手県立博物館・東北大学）

14:00 O-07 インドネシア, ラマレラの捕鯨記録(2015～16)と社会変化  
○江上幹幸（元沖縄国際大学），小島曠太郎（文筆家）

14:15 O-08 サハリン・樺太におけるシロイルカの古い記録についての雑記  
○水島未記（北海道博物館）

14:30 O-09 中島将行博士が残した水族館に関する歴史的資料  
○宇仁義和（東京農業大学）

O-10～12 座長：松石隆（北海道大学）

14:45 O-10 漂着専門委員会報告；日本沿岸のストランディングレコード 2016.  
○石川創（下関海洋科学アカデミー鯨類研究室），田島木綿子，石井雅之，山田格（国立科学博物館）

15:00 O-11 小笠原・父島海域におけるハシナガイルカとミナミハンドウイルカの  
海域利用実態  
○森 恭一，山田一輝，田村和樹（帝京科学大学），岡本亮介（小笠原ホエールウォッチング協会）

15:15 O-12 スナメリについて  
○山田格（国立科学博物館）

最優秀発表賞授賞式・閉会式 15:30 – 15:45

山田格（日本セトロロジー研究会代表 国立科学博物館）